

2016年2月16日

ボーイング「737MAX」向けアクチュエーター 量産用製品の納入開始

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷 和朗）は、本日2月16日、ボーイング737型最新モデル「737MAX」（写真）の量産初号機に搭載されるスポイラー・アクチュエーターを出荷いたしました。

737シリーズは、民間航空機市場におけるベストセラー機であり、現在の737NGの発展型となる「737MAX」は、既に3,000機以上の受注が確定しております。2016年1月29日には、米国ワシントン州レントンにおいて、「737MAX」の初飛行が無事完了し、2017年秋の初号機引き渡しに向けて着々と開発が進められております。



「737MAX」では、重量軽減および整備性向上を目的として、従来のケーブルやリンクによる駆動方式からフライバイワイヤー方式のスポイラー・アクチュエーターが採用されることとなり、「777」、「747-8」での経験を活かし、本製品の開発に注力してまいりました。今般、ボーイング社の最新鋭小型機に搭載されるアクチュエーターが新たに製品ラインアップに加わったことは、当社にとって長期安定ビジネスの確保につながり、新たな成長基盤となる事を確信しております。

今後、現在進行中である量産体制、並びにサービス体制の構築を含めて、737MAXプログラムの成功へ向けて尽力してまいります。

以上